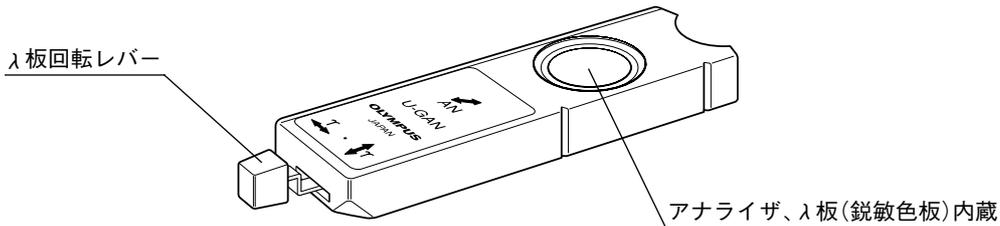


このアナライザはUIS光学系用で、スライダ挿入可能レボルバに取付けレバーを操作することで、尿酸結晶検出が行えます。

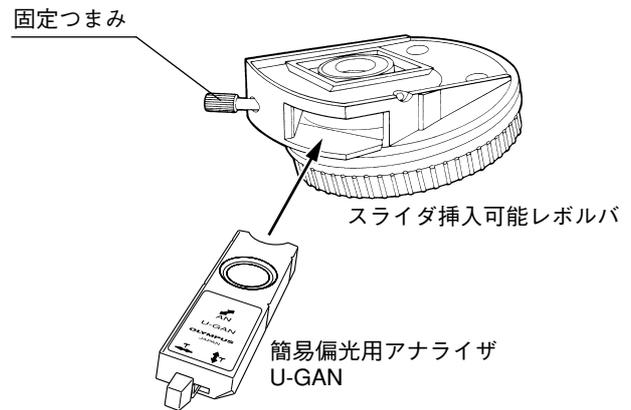
組合わせ可能レボルバ：U-D6RE, U-D7RE, U-D5BDRE, U-D6REM, U-D5BDREM, U-P4RE, U-P6RE

## 1 外 観

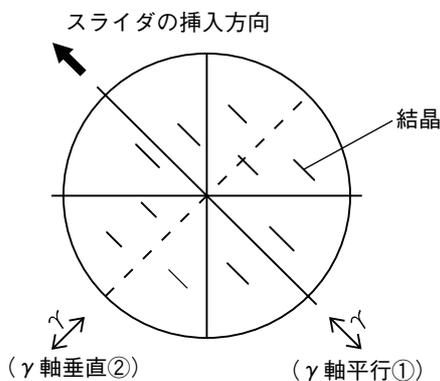


## 2 取付け方

- 1) レボルバの固定つまみをゆるめて、挿入されているスライダまたはダミースライダを取外します。
- 2) 簡易偏光用アナライザU-GANの表示面を上にして挿入し、突当てまで押込み、固定つまみを締付けます。
- 3) ポラライザU-POTまたは、コンデンサ内蔵のポラライザを光路に入れます。



## 3 尿酸結晶検出法



- 1) 40×対物レンズを光路に入れます。
- 2) 使用しているコンデンサにトップレンズがあるものは、光路に入れます。
- 3) U-GANのλ板回転レバーを中央位置(●)にし、接眼レンズを覗きポラライザを回して、最も暗くなる位置に調整します。
- 4) 結晶の長手方向が $\gamma$ 軸平行①になるように、ステージまたは標本を回転させます。このときλ板の $\gamma$ 軸方向と結晶の長手方向が揃った結晶を注視し、その他は無視してください。
- 5) U-GANのλ板回転レバーを右側(↑ $\gamma$ )一杯に回すと、揃った結晶の色の変化で尿酸結晶の検出が可能となります。

結晶が黄色 ⇨ 尿酸ナトリウム (尿酸結晶)

結晶が青色 ⇨ ピロリン酸カルシウム

6) 次にU-GANのλ板回転レバーを左側(⤵)一杯に回すとγ軸垂直②となり、このとき、色の逆転により、判定結果の確認ができます。

#### 判定に際してのご注意

λ板回転レバー右側(⇩γ)位置

尿酸ナトリウム(尿酸結晶)

ピロリン酸カルシウム

×

○

×

○



干渉色(青色)



(黄色)



(黄色)



(青色)

← スライドの挿入方向  
↙ (γ軸平行①)

γ軸と結晶の長手方向が、揃っていると尿酸ナトリウム(尿酸結晶)は黄色、ピロリン酸カルシウムは青色に変化し、正しく判定できますが、結晶が垂直方向(×印位置)では、全く逆の現象となりますのでご注意ください。

## 4 その他の観察

### 明視野観察

U-GANを固定している、レボルバの固定つまみをゆるめて、U-GANを引出しクリックの入った所で止めます。(固定つまみを締付ける。)

これでアナライザ、λ板が光路から外れ、明視野観察ができます。

### その他

U-GANのλ板回転レバーを中央位置(●)にすることで、簡易的な偏光観察ができますが、λ板が入っているため、コントラストが悪くなる傾向にあります。